

入社動機 1位は「会社の雰囲気・イメージ」

理想の上司、男性は鈴木一郎（イチロー）さん、女性は水ト麻美さん

- ◇調査名：「2021年 新入社員意識調査」
- ◇調査時期：3月26日(金)～4月15日(木)
- ◇調査対象：当社が滋賀県内で開催した新入社員研修の受講者
- ◇有効回答数：481人〔男性289人（60.1%）、女性192人（39.9%）〕

当社は毎年、3月末から4月にかけて、当社が滋賀県内で開催した新入社員研修の受講者を対象に意識調査を実施している。今年は481名から有効回答を得た。

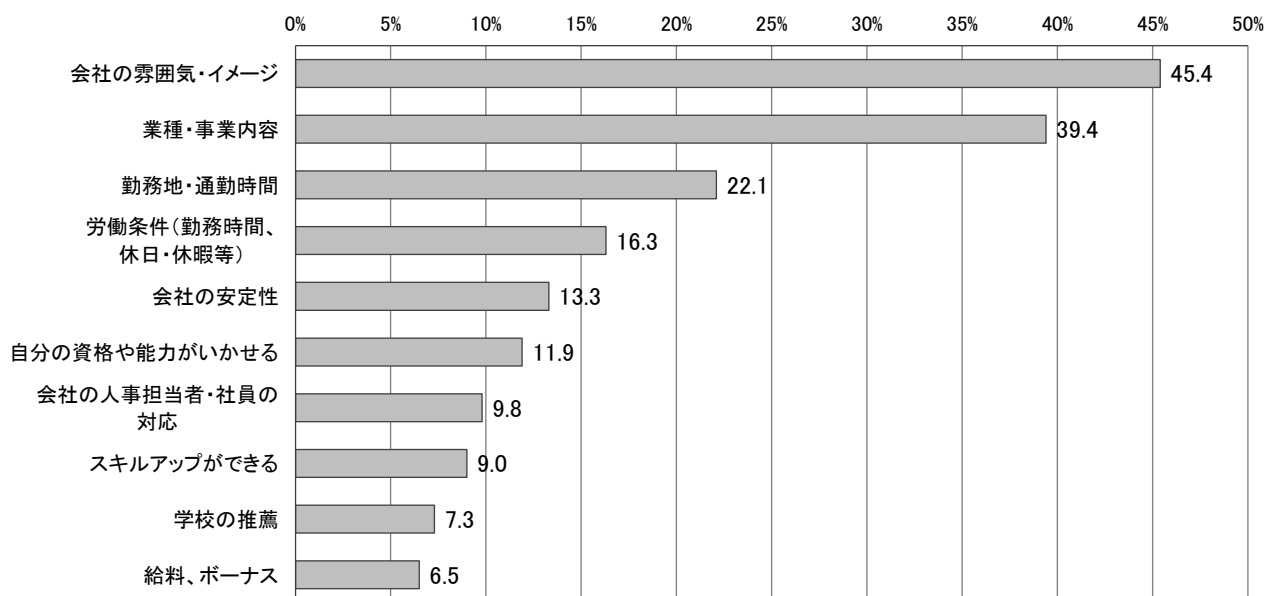
入社動機のトップは、「会社の雰囲気・イメージ」（45.4%）となった。就職した企業に「定年まで勤めたい」（44.4%）との回答は5割を切り、「転職・独立」に関心を持つ人は35.2%と、2004年の調査開始以来、最も高くなった。

※なお、過去データとの比較において、昨年（2020年）調査の数値は本レポートに掲載していない（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年は調査時期が例年とは異なり、また、有効回答数も少なかったため）。

▶入社動機は「会社の雰囲気・イメージ」が4割超

「入社を決めた主な動機」（複数回答）は、「会社の雰囲気・イメージ」（45.4%）が最も高く、次いで「業種・事業内容」（39.4%）となった。

図1 入社を決めた主な動機 上位10項目（複数回答）



※今回調査で選択肢の内容を一部変更したため、過去調査との比較は行っていない。

▶自信があるのは「協調性」「忍耐力」、不足しているのは「創造力」「柔軟性」

「社会人として『自信が持てる』もの」（複数回答）は、「協調性」（33.0％）が最も高く、次いで「忍耐力」（23.4％）となった。男女別では、女性は「協調性」（39.1％）、「集中力」（24.0％）、「責任感」（23.4％）で男性を大きく上回った。男性は「体力」（19.9％）、「根性」（15.7％）で女性を大きく上回った。

一方、「社会人として『不足している』もの」（複数回答）は、「創造力」（34.5％）が最も高く、次いで「柔軟性」（25.9％）となった。男女別では、女性は「体力」（25.0％）で男性を大きく上回った。

図 2 - 1 社会人として「自信が持てる」もの [男女別] (複数回答)

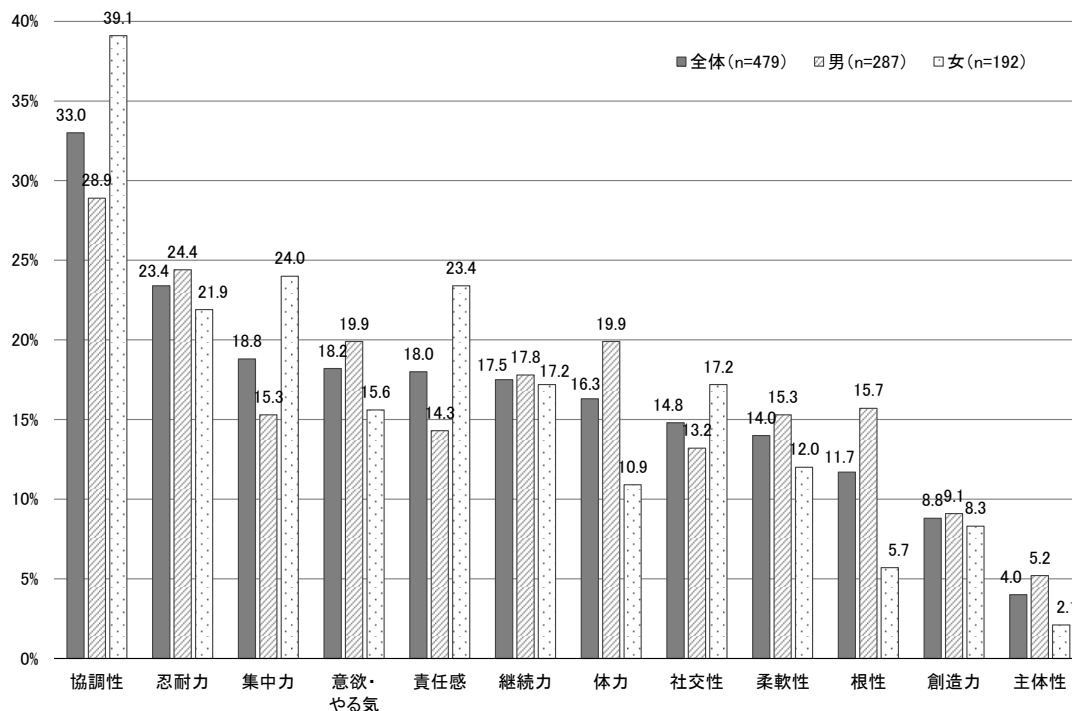
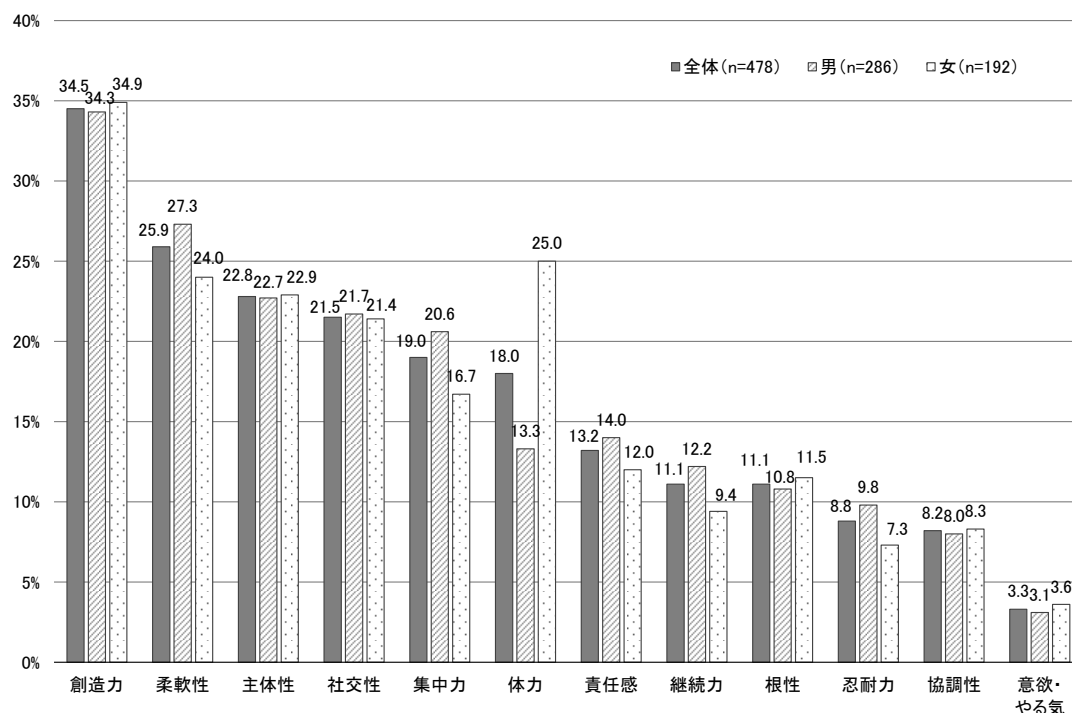


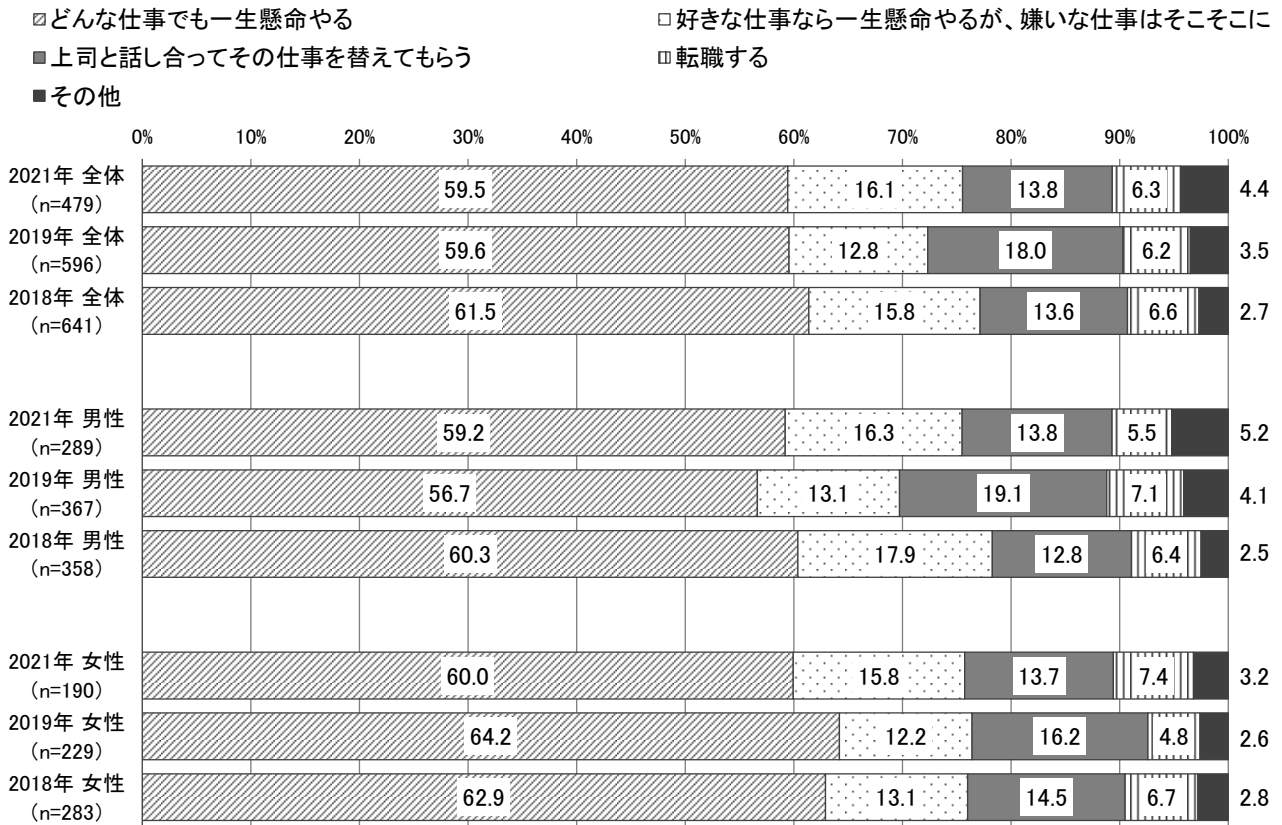
図 2 - 2 社会人として「不足している」もの [男女別] (複数回答)



▶ 「どんな仕事でも一生懸命やる」が約6割

「与えられた仕事が自分に合わないと思えるときはどうするか」は、「どんな仕事でも一生懸命やる」（59.5%）が最も高く、次いで、「好きな仕事なら一生懸命やるが、嫌いな仕事はそこそこに」（16.1%）となった。男女で大きな差はなかった。

図3 仕事が自分に合わないときはどうするか（複数回答）



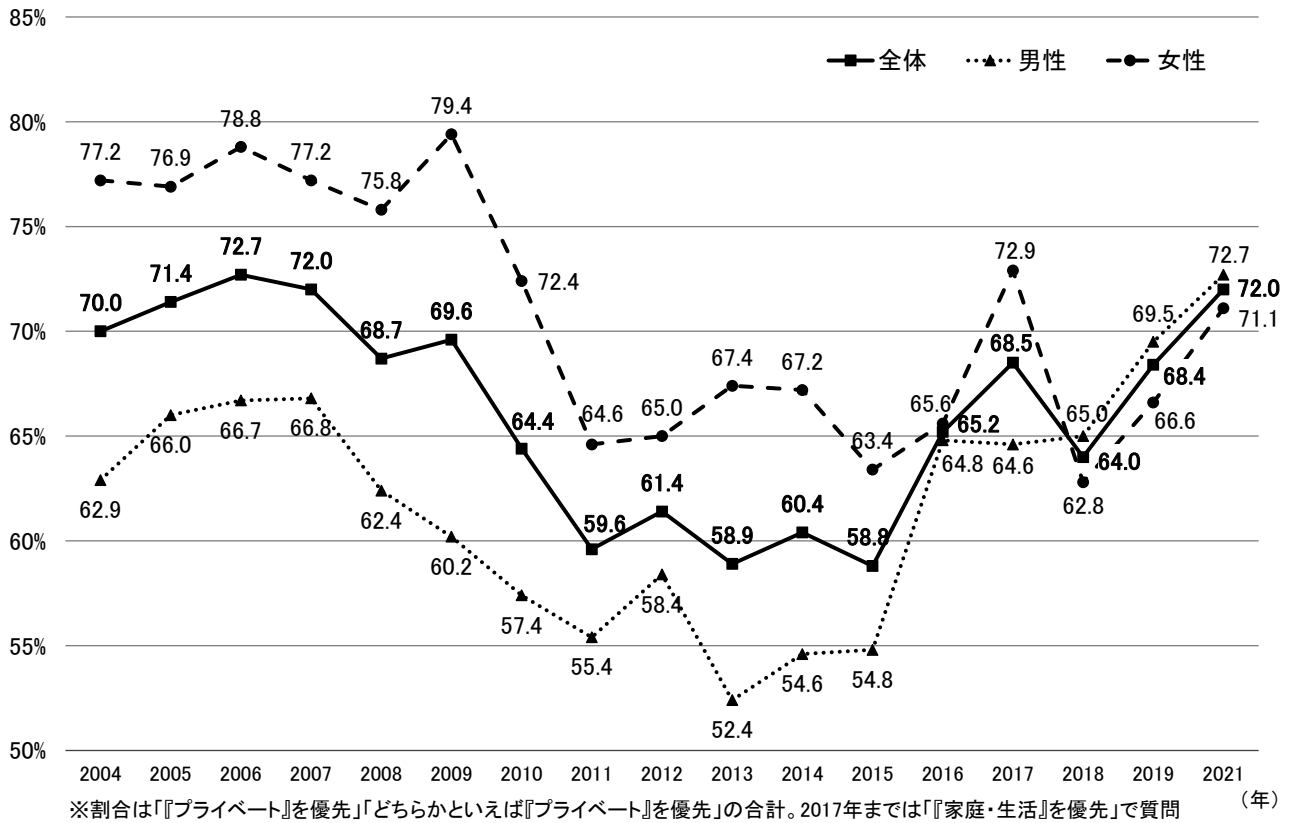
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年は調査時期が例年とは異なり、また、有効回答数も少なかったため、2020年調査の数値は掲載していない。

▶ 「プライベート優先」が7割超

『仕事』と『プライベート』のどちらを優先した生活を送りたいかは、「プライベート優先（「どちらかといえば」を含む）」が72.0%となった。

男女別では、「プライベートを優先（「どちらかといえば」を含む）」は、男性72.7%、女性71.1%で、男性が高い。また、男性は2004年の調査開始以来、最も高くなった。

図4 「『プライベート』を優先」する割合の推移（男女別）

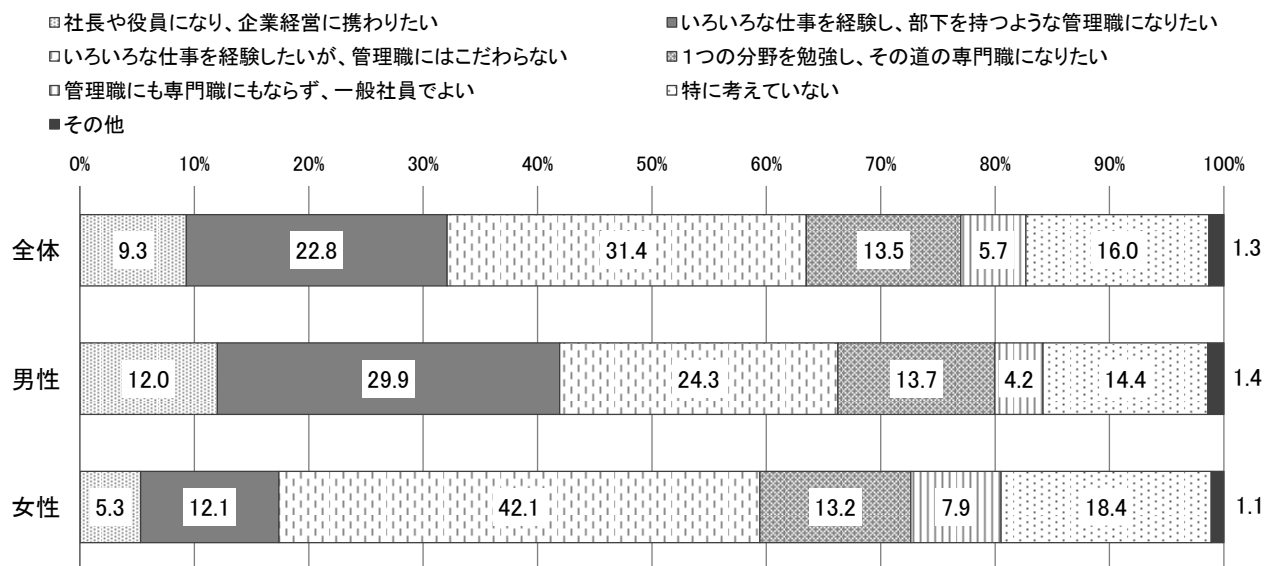


※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年は調査時期が例年とは異なり、また、有効回答数も少なかったため、2020年調査の数値は掲載していない。

▶ 社会人として歩みたい道は、「管理職にはこだわらない」が3割超

「社会人としてどのような道を行みたいか」は、「いろいろな仕事を経験したいが、管理職にはこだわらない」(31.4%)が最も高く、次いで「いろいろな仕事を経験し、部下を持つような管理職になりたい」(22.8%)、「特に考えていない」(16.0%)となった。

図5 社会人としてどのような道を行みたいか



※今回調査で選択肢の内容を一部変更したため、過去調査との比較は行っていない。

▶ 「定年まで勤めたい」が4割超も、「転職・独立に関心あり」割合が過去最高に

入社する会社に「定年まで勤めたいか」は、「そうしたい」（44.4%）が最も高く、次いで「他によい仕事があれば転職する」（27.8%）となった。男女別では、最多の「そうしたい」（＝定年まで勤めたい）は、男性 52.1%、女性 32.8%。19年に比べて、女性は「そうしたい」が減少、「他によい仕事があれば転職する」が増加した。

また、「他によい仕事があれば転職する」と「いずれ独立したい」を合計した「転職・独立に関心あり」（35.2%）は2004年の調査開始以来、最も高くなった。特に女性の伸びが大きく、男女の割合はほぼ同じになった。

図6-1 定年まで勤めたいか

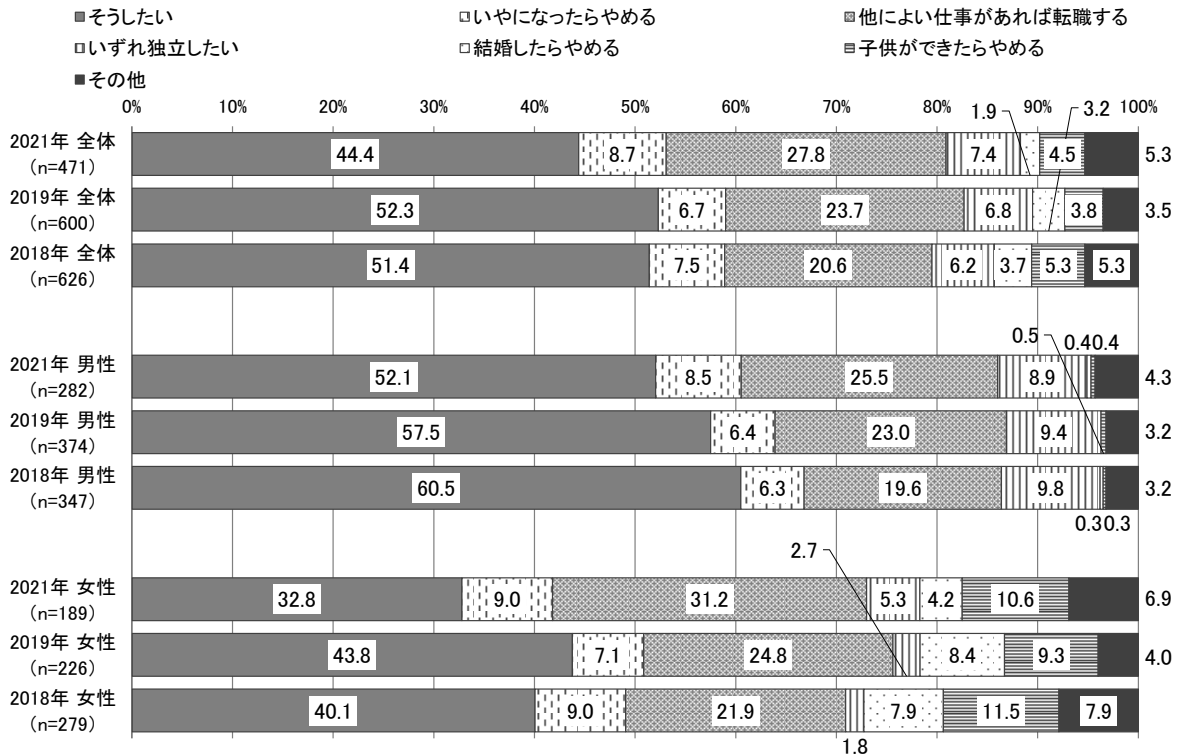
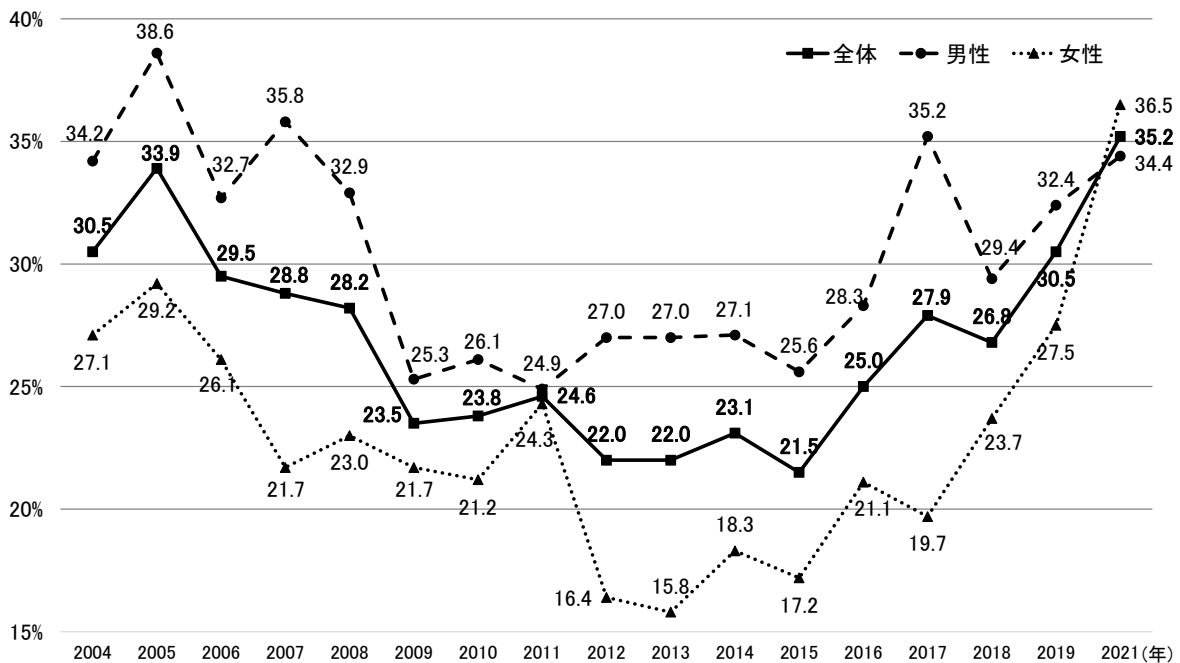


図6-2 「転職+独立」割合の推移（男女別）



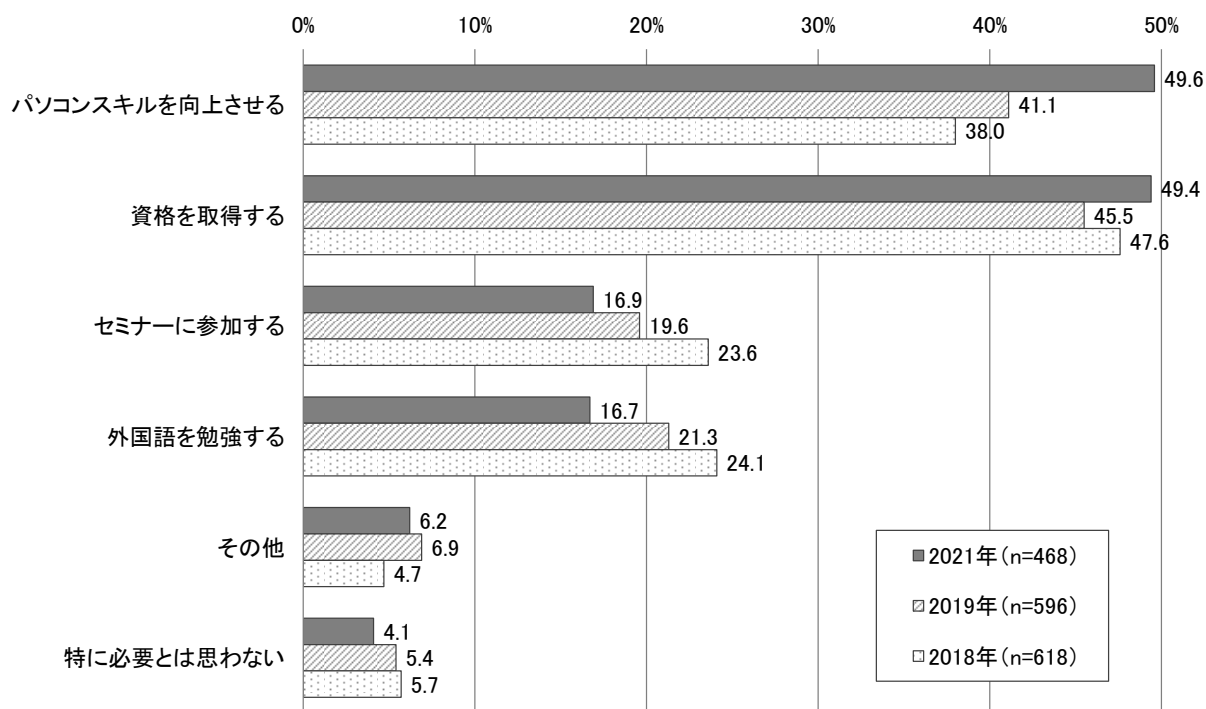
※(図6-1、2とも)新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年は調査時期が例年とは異なり、また、有効回答数も少なかったため、2020年調査の数値は掲載していない。

▶技能・能力アップに必要な勉強、半数が「パソコンスキル向上」「資格取得」

「自分自身の技能や能力アップのために、どのような勉強が必要か」（複数回答）は、「パソコンスキルを向上させる」（49.6%）が最も高く、次いで高い「資格を取得する」（49.4%）もほぼ同じ割合となった。

「資格を取得する」では、建築士（一級・二級を含む）、施工管理技士や簿記等の検定試験といった、業種によって具体的な回答があった。また「外国語を勉強する」の具体的記述では、「英語」が62人で最も多く、次いで「中国語」16人となった。

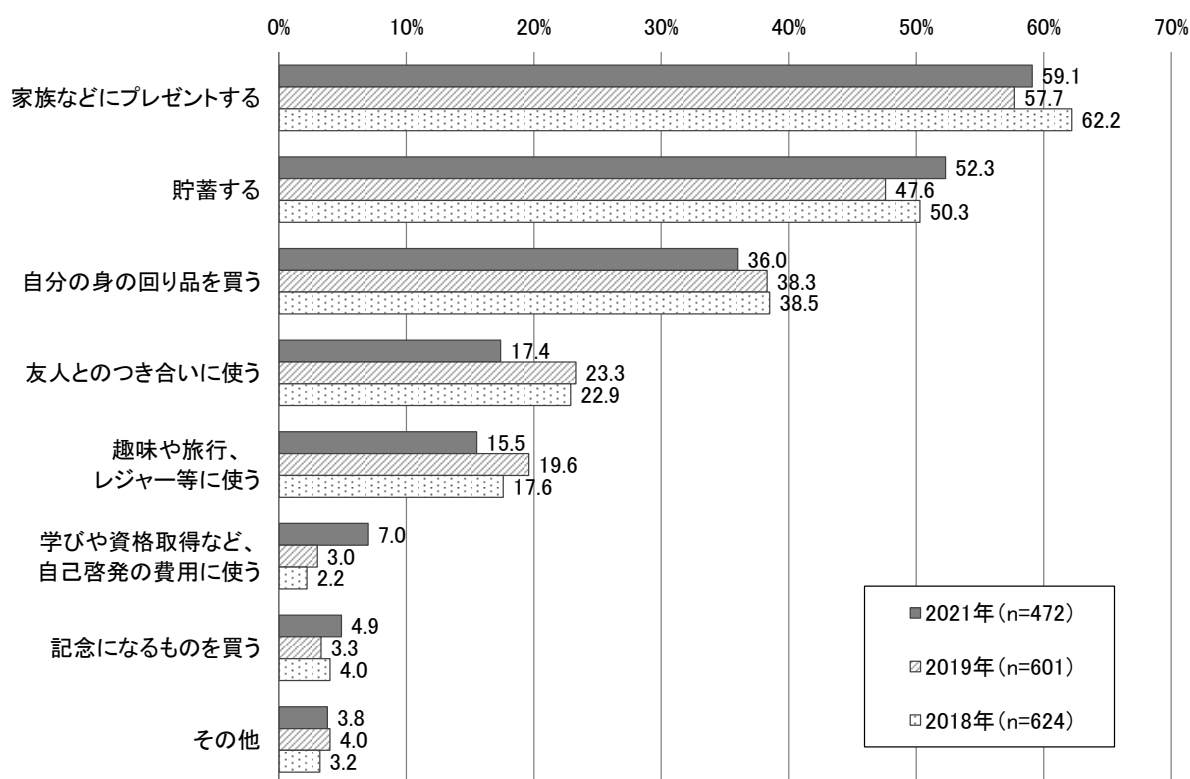
図7 技能や能力アップのために必要だと思う勉強（複数回答）



▶初めての給料は、「家族などにプレゼント」「貯蓄」

「初めての給料の使いみち」（複数回答）は、「家族などにプレゼントする」（59.1%）が最も高く、次いで「貯蓄する」（52.3%）、「自分の身の回り品を買う」（36.0%）となった。

図8 初めての給料の使いみち（複数回答）



▶理想の上司、男性：鈴木一郎（イチロー）さん、女性：水ト麻美さん

「理想とする上司像を有名人に例えると」（フリーアンサー）に対して、男女1名ずつ回答してもらったところ、男性上司1位は元プロ野球選手の鈴木一郎（イチロー）さん（回答数36人）、女性上司1位はアナウンサーの水ト麻美さん（同55人）となった。

その理由を、回答した有名人1名につき最大2つまで選んでもらったところ、鈴木一郎さんは「頼りになりそう」（9人）が最も多く、次いで「仕事ができそう」「率先して手本を見せてくれそう」「目標ややり方をはっきり示してくれそう」（ともに8人）となった。水ト麻美さんは「面倒見がよく、何でも相談できそう」（35人）が最も多く、次いで「優しく丁寧に指導してもらえそう」（30人）となった。

表 理想とする上司像 上位5位（2021年）

男性の上司	回答数(人)	順位	女性の上司	回答数(人)
鈴木一郎(イチロー)	36	1	水ト麻美	55
内村光良	27	2	天海祐希	35
明石家さんま	22	3	石原さとみ	22
大泉洋	16	4	北川景子	14
櫻井翔	16	5	新垣結衣	13

※男女それぞれ1名をフリーアンサーで回答

以上